

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 12 月 17 日(2024.12.17)

【公開番号】特開 2023-87783(P2023-87783A)
【公開日】令和 5 年 6 月 26 日(2023.6.26)
【年通号数】公開公報(特許)2023-118
【出願番号】特願 2021-202259(P2021-202259)
【国際特許分類】
A 63 F 7/02(2006.01)
【FI】
A 63 F 7/02 320

10

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 12 月 9 日(2024.12.9)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

始動条件が成立したことにより特定識別情報の可変表示を実行し、該特定識別情報の可変表示の結果として特定表示結果が導出されたときに遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
前記特定識別情報の可変表示に対応する装飾識別情報の可変表示を表示可能な表示手段と

、
発光手段と、
演出制御手段と、を備え、

30

一の演出モードにおいて、第 1 背景画像と第 2 背景画像とを含む複数種類の背景画像を切り替えて表示可能であり、

前記背景画像を前記第 1 背景画像から前記第 2 背景画像へ切り替えるときに、前記第 1 背景画像の透明度を漸次高めていく背景フェードアウト表示を実行するとともに、前記第 2 背景画像の透明度を漸次低くしていく背景フェードイン表示を実行可能であり、

前記装飾識別情報の可変表示を開始するときに、該装飾識別情報の透明度を漸次高めていく装飾識別情報フェードアウト表示を実行可能であり、

前記装飾識別情報の可変表示を終了するときに、該装飾識別情報の透明度を漸次低くしていく装飾識別情報フェードイン表示を実行可能であり、

前記装飾識別情報フェードアウト表示と前記背景フェードアウト表示とを共通の時期に実行可能であり、

40

前記装飾識別情報フェードイン表示と前記背景フェードイン表示とを共通の時期に実行可能であり、

前記装飾識別情報フェードアウト表示の実行期間よりも前記背景フェードアウト表示の実行期間の方が長く、

前記表示手段は、

遊技が終了した後の第 1 期間において、背景表示を表示し、

前記第 1 期間が終了した後の第 2 期間において、デモンストレーション表示を表示し、

前記デモンストレーション表示を表示しているときに前記始動条件が成立した場合、前記識別情報フェードアウト表示を開始するよりも前に前記デモンストレーション表示から前記識別情報の可変表示に切り替えて表示し、

50

前記演出制御手段は、

前記第 1 期間において、前記背景表示に対応する背景表示輝度データテーブルを用いて前記第 2 発光手段を制御し、

前記第 2 期間において、前記デモンストレーション表示に対応するデモンストレーション表示輝度データテーブルを用いて前記発光手段を制御し、

前記表示手段により前記デモンストレーション表示が表示されているときに前記始動条件が成立した場合、前記表示手段が該デモンストレーション表示から前記装飾識別情報の可変表示に対応する表示を表示を切り替えるよりも前に、前記デモンストレーション表示輝度データテーブルから該装飾識別情報の可変表示に対応する輝度データテーブルに切り替えて前記発光手段を制御し、

10

前記表示手段が前記デモンストレーション表示から前記背景表示を表示を切り替えるよりも前に、前記デモンストレーション表示輝度データテーブルから前記背景表示輝度データテーブルに切り替えて前記発光手段を制御する、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

20

(1) 始動条件が成立したことにより特定識別情報の可変表示を実行し、該特定識別情報の可変表示の結果として特定表示結果が導出されたときに遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

前記特定識別情報の可変表示に対応する装飾識別情報の可変表示を表示可能な表示手段と、

発光手段と、

演出制御手段と、を備え、

一の演出モードにおいて、第 1 背景画像と第 2 背景画像とを含む複数種類の背景画像を切り替えて表示可能であり、

前記背景画像を前記第 1 背景画像から前記第 2 背景画像へ切り替えるときに、前記第 1 背景画像の透明度を漸次高めていく背景フェードアウト表示を実行するとともに、前記第 2 背景画像の透明度を漸次低くしていく背景フェードイン表示を実行可能であり、

30

前記装飾識別情報の可変表示を開始するときに、該装飾識別情報の透明度を漸次高めていく装飾識別情報フェードアウト表示を実行可能であり、

前記装飾識別情報の可変表示を終了するときに、該装飾識別情報の透明度を漸次低くしていく装飾識別情報フェードイン表示を実行可能であり、

前記装飾識別情報フェードアウト表示と前記背景フェードアウト表示とを共通の時期に実行可能であり、

前記装飾識別情報フェードイン表示と前記背景フェードイン表示とを共通の時期に実行可能であり、

40

前記装飾識別情報フェードアウト表示の実行期間よりも前記背景フェードアウト表示の実行期間の方が長く、

前記表示手段は、

遊技が終了した後の第 1 期間において、背景表示を表示し、

前記第 1 期間が終了した後の第 2 期間において、デモンストレーション表示を表示し、

前記デモンストレーション表示を表示しているときに前記始動条件が成立した場合、前記識別情報フェードアウト表示を開始するよりも前に前記デモンストレーション表示から前記識別情報の可変表示に切り替えて表示し、

前記演出制御手段は、

前記第 1 期間において、前記背景表示に対応する背景表示輝度データテーブルを用い

50

て前記第 2 発光手段を制御し、

前記第 2 期間において、前記デモンストレーション表示に対応するデモンストレーション表示輝度データテーブルを用いて前記発光手段を制御し、

前記表示手段により前記デモンストレーション表示が表示されているときに前記始動条件が成立した場合、前記表示手段が該デモンストレーション表示から前記装飾識別情報の可変表示に対応する表示に表示を切り替えるよりも前に、前記デモンストレーション表示輝度データテーブルから該装飾識別情報の可変表示に対応する輝度データテーブルに切り替えて前記発光手段を制御し、

前記表示手段が前記デモンストレーション表示から前記背景表示に表示を切り替えるよりも前に、前記デモンストレーション表示輝度データテーブルから前記背景表示輝度データテーブルに切り替えて前記発光手段を制御する、

10

ことを特徴とする。

この特徴によれば、好適な客待ち制御を行うことができるので、商品性を高めることができる。

20

30

40

50